

きりゅう

平成30年11月1日

No.256

市議会だより



表紙 よ〜いしょ よ〜いしょ (中央中学校運動会)

お知らせ

◆次回定例会の開催予定は…

11月30日(金)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部(要旨)を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。



キノビー

Pick up

平成30年第3回定例会は、8月28日(火)に招集され、9月21日(金)までの25日間の会期で開かれました。

- 市議会の当初予算要望 ……P 2
- 平成29年度決算を認定 ……P11
- インターシップ実習生受け入れ ……P12
- 活動開始! 議会モニター ……P12

桐生市議会は、いちばん身近な頼れる議会を目指して議会機能の充実強化に努めます。

市議会初の予算要望書



桐生市議会は9月19日、桐生市長に当初予算要望書を提出しました。要望書の内容は下記のとおりです。

桐生市議会は、市民の皆様から信託を受け、議会及び議員としての職責を全うするため、「いちばん身近な頼れる議会」を目標に掲げ、市民と向き合う議会として、日々、議会改革に取り組んでおります。

これまで、高校生、大学生、市内企業の若手社員その他各種団体など多くの市民の皆様と「まちづくり討論会」や「議会報告会・意見交換会」などを開催し、数多くの貴重なご意見を頂戴しました。それらの取組を踏まえて、議会として「市民の皆様の声を政策化する仕組み」ができないだろうか検討しておりました。

折しも、今年5月に桐生市議会政策研修会を開催し、講師の東京大学の金井教授から、「今後の議会改革の焦点は、議会の最大の権能である予算審議の強化にあるが、予算が議案として提出されてからでは、変更するのは難しい。予算編成前に予算要望を執行部側に提起することが解決策の一つである。」とわが意を得たアドバイスをいただきました。

そこで、このたび、桐生市議会としては初めて、予算編成前に平成31年度当初予算要望書を市長に提出することにいたしました。要望事項については、市民や各種団体のご意見要望等を各常任委員会で慎重に協議し、各3項目ずつ、計9項目に絞り込んだものがあります。

当初予算編成にあたって、桐生市の厳しい財政状況は、理解しておりますが、この要望は、民意であり、今後の桐生市の持続的発展や活性化等につながるものでありますので、是非とも御検討の上、当初予算に反映していただきますよう、強く要望いたします。

I 総務委員会

◎職員研修の拡充について

公民連携の推進など、時代の変化に対応した政策の立案や、質の高い市民サービスを提供できる職員の育成を目指し、知識の習得や先進地視察の機会拡大を図ることを強く要望いたします。

◎SDGs(持続可能な開発目標)推進に向けた取り組み

SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた観点を取り入れた計画づくりを市政に反映できるよう、全職員がその理念や取組の必要性などを理解し、更に市民等にも広く啓発するための施策(講演会の開催など)を実施するなど、SDGs推進に向けた取組を強く要望いたします。

◎公共交通等に関すること

平成30年第1回定例会において可決された「地方創生及び国土強靱化に向けた首都圏外周環状線の連結強化のための整備促進を求める意見書」を踏まえ、J R両毛線を基軸とした、関連する路線とのネットワーク化に関する調査・研究の取組を強く要望いたします。



II 経済建設委員会

◎きりゅう暮らし応援事業補助金の継続及び拡充を図ること

誰もが住みたい・住み続けたいと思えるまちづくりのため「住宅取得応援助成」については、市外からの転入者に対して、さらなるインセンティブを設けるとともに、市が支援する婚活イベントに参加し、結婚した人が利用した場合には新たに加算を設けること。

また、「住宅リフォーム助成」、「空き家活用助成」及び「空き家除却助成」については、利用しやすい制度となるよう内容を精査し、さらなる充実を図ることを強く要望いたします。

◎市内業者の育成及び入札要件の緩和を図ること

市内業者の受注機会を増大させることで、地域経済の活性化及び経済循環に繋がることから、公共工事における入札資格等の要件に工事実績等がある場合、見直しを行うとともに、先事例を積極的に調査・研究し、市内業者の育成に努めることを強く要望いたします。

◎インターネットを通じた市内店舗等のPRの推進を図ること

観光客の増加を図るため、インターネット上の情報を検索する検索エンジンの中で最もシェア率の高いGoogleによるDMOパートナーシップの活用など、市内店舗等の情報発信に伴う施策について、実施に向けた研究・検討することを強く要望いたします。



III 教育民生委員会

◎子どもの未来を育む事業に関すること

「子どもは桐生市の宝であり、子育ては未来の桐生市を担う人材を育てることである」という認識のもと、子どもの個性を活かし、その持てる能力を最大限に発揮できるような施策を展開するための財源確保に努めることを強く要望いたします。

◎災害用マンホールトイレの整備に関すること

自然災害が頻繁に発生している近年、災害への備えは急務であり、大規模な災害が発生した際、避難場所でのトラブルの上位に「トイレ」の問題が挙げられていることから、災害時において迅速にトイレ機能を確保できるマンホールトイレの整備を強く要望いたします。

◎婚活支援に関すること

「結婚」「出産」「子育て」すべては出会うことから始まる。結婚を希望する人の交流促進を図り、出会いを側面からサポートしている社会福祉協議会や婦人団体連絡協議会などの各種団体と連携・協力し、結婚に向かって一歩を踏み出すきっかけ作りに寄与することを強く要望いたします。



本件については9月19日(水)に議長記者会見をしました。



9月20日(木)・21日(金)の2日間にわたり、16人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）



久保田 裕一
(そうぞう未来)

**新里町における
新たな災害リスク**

質問 新里町奥沢のゴルフ場跡地において、太陽光発電施設設置のため樹木が伐採され土砂災害等が懸念されるが、事業者に適切な管理を求めることはできるか。

答弁 事業者への適切な管理に対する要望については、伐採等届出受理通知書の指導事項を厳守してもらうほか、既存の6か所ある調整池の管理、また、資源エネルギー庁が策定した「事業計画策定ガイドライン」の中で、事業の概要や環境・景観等について地域住民の理解が得られるように努めることと明記されている

ため、地元住民から事業者への相談や要望も可能であると考える。



おりひめバス

**おりひめバスの
運行見直し**

質問 市域をまたいだ広域バス路線の検討を求めるが、効果と課題についての見解は。

答弁 入道については、市民の新たな移動手段の確保に、公共有の利便性が向上するものと考えている。桐生・みどり地域は鉄道4社が基幹

交通として役割を担っているため、まずはこの4路線を基本に据えて、鉄道とバスの相互の連携や役割分担などを明確にし、現在あるインフラを有効活用した総合的な交通体系として、市民の意見や要望を聞きながら検討することが重要と考える。



佐藤 幸雄
(創志会)

**ブロック塀等の
対応**

質問 緊急性の高いものから改修するとしているが、小中学校3施設・4か所における点検調査状況と改修計画及び改修費用は。

答弁 今回改修することとなった東小学校・南小学校は、高さ、控え壁、傾き・ひび割れの各項目で不適合と判定され、新里中学校は、高さ、控え壁、傾き・ひび割れの項目で1か所、傾



新里中学校ブロック塀

き・ひび割れが顕著で、危険性が高いと判定されたものが1か所となっている。改修については、既設のブロック塀を撤去し、メッシュフェンス若しくは目隠しフェンスを10月末までに設置する計画であり、改修費用は、見込み額として、予備費より1267万9200円を充用している。

**小規模ビジネス
育成事業**

質問 費用対効果及び来年度の対応は。

答弁 創業機運醸成と

創業者の創出、子育てや介護で就業が困難な市民への仕事のあっ旋やコワーキングスペースを中心市街地で展開すること、まちの活性化に繋がるなど、費用対効果は高いと考えている。また、本事業は、地方創生推進交付金を活用し、平成29年度から平成30年度までの2年間の事業となっているが、来年度以降も事業が継続されるよう必要な支援をしていきたいと考えている。



関口直久 (日本共産党議員団)

オスプレイ飛行訓練中止

質問 9月6日16時頃、当市上空でオスプレイの飛行訓練が目撃されたが、訓練中止を政府と米軍に求めることについては。

答弁 群馬県内での米軍機の飛行は、県民生活に深刻な影響を与える可能性があることから、平成30年6月27日に群馬県知事が防衛大臣に対し、「人口密集地域や公共の安全に係る学校、病院などの建造物に適切な配慮を払い、最低高度基準を遵守して安全性を最大限確保するとともに、騒音など県民に与える影響を最小限にするための適切な対応をとるよう、米軍に強く要請すること」等を文書により要請した。今後も群馬県から事前に情報提供を受け、市民へ必要に応じて情報提供に努め、群馬県

と連携を図りながら市民の安全安心の確保に努めたい。



長尾根峠

長尾根峠

質問 長尾根峠道路改良工事における、未整備区間の今後の取り組みは。

答弁 川内町側の県道80mの区間が未整備区間だが、峠部分の第1工区が完成したことから、供用開始後の全線の交通量や利用状況等を見極めながら、今後の整備手法等も含め、この区間の調査・研究を重ねてまいりたい。



辻正男 (そうぞう未来)

災害後のトイレ対策

質問 災害時に水洗トイレが使用できない時、家庭でできるトイレ対策は。

答弁 各家庭におけるトイレの使用人数や、個人の身体状況による使用可能なトイレの型やトイレの使用頻度などについて、日頃からの把握し、簡易トイレ等の準備を心掛けていただきたい。市では、生き生きし出前講座や各地区の自主防災会が開催する研修や訓練時に、災害時のトイレ問題などの事例を紹介し、各家庭における防災グッズの参考となるよう周知・啓発を行っている。ま

た、市ホームページや広報紙でもお知らせをしている。



交差点名標識

信号機に観光地名の表記

質問 観光施設として交差点名標識への観光地名を表記することについては、長きにわたり使用され、地域に浸透して

り、市民に愛着があるものと考えられるため、変更する場合は、慎重に対応しなければならぬものと考えている。標識のない信号機や道路新設に伴い信号機を新設する場

合については、地域住民や警察などの関係機関との調整を図りながら、道路管理者へ要請をするなど、観光的視点に立ったまちづくりに取り組んでまいりたい。

た、市ホームページや広報紙でもお知らせをしている。



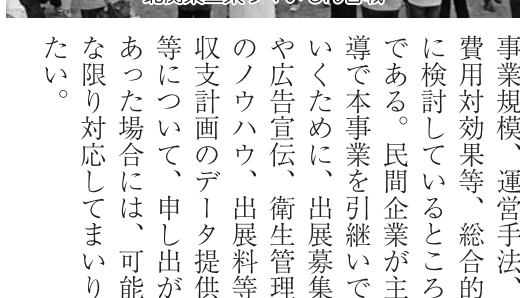
工藤英人 (創志会)

時差出勤の導入

質問 桑名市で導入されている、通常の勤務時間の前後30分単位で、最大1時間ずらすことが可能な時差出勤勤務制度の導入について。

答弁 これまでも公務上の理由での勤務時間の割り振り変更や育児、介護を行う職員の早出、遅出勤務を導入しているが、働き方やライフスタイルが多様化する中で、これら以外の理由で

も時差出勤が利用できることで、ワークライフバランスの推進を図ろうとする桑名市の事例は参考になると考える。当市での各職場や職員のニーズ、またメリット・デメリットなどもよく検討し、桑名市や他の自治体の先進的な取り組みを調べてまいりたい。



北関東三県ウマイもん合戦

ウマイもん合戦の民間実施

質問 予算、決算の詳細を公開、説明し、開催までのスケジュール等のノウハウを伝授して、民間企業が主導で引継ぐことができないか。

答弁 今後の開催について、会場確保や事業規模、運営手法、費用対効果等、総合的に検討しているところである。民間企業が主導で本事業を引継いでいくために、出展募集や広告宣伝、衛生管理のノウハウ、出展料等取支計画のデータ提供等について、申し出があった場合には、可能な限り対応してまいりたい。



始 原 井 浩 史
(クラブ 21)

消防分団員の身分保障

質問 現在の消防団員等福祉共済制度では、重篤な疾病の場合十分ではなく、生活に影響を及ぼすため検討が望まれるが、公務・公務外における災害事例、また、消防団員等福祉共済の実績は。

答弁 消防団員の公務災害事例については、桐生市では過去5年間で、訓練中に3名、消火活動中に1名、計4名の消防団員が負傷した事例が発生しており、全国の例でも、訓練中及び消火活動中の負傷が多く、当市も同様の状況となっている。なお、公務外の災害事例については、全ての把握はしていない。消防団員等福祉共済については、日常生活上の疾病、事故も対象となる共済制度であり、全ての消防団員が公費によ

り加入している。給付の状況は、過去5年間で8名の入院見舞金等の給付事例があり、事例の一部として、昨年、消防団員が脳卒中で約5か月間入院した際、入院見舞金18万円が給付され、生活援護金について現在申請中となっている。その他、心疾患を患った消防団員へ入院見舞金3万6千円及び障害見舞金9万円、死亡した消防団員の遺族へ遺族援護金100万円が給付されている。



消防団

○その他の質問項目 ◆(仮称)梅田浄水場と桐生市水道事業経営戦略



規 島 英 規
(無党派)

職員不祥事防止とトイレ掃除

質問 具体的な職員不祥事防止策は。

答弁 「職員の不祥事防止」の理解と確実な実行を図るため、部課長を対象に説明会を実施し、各所属職員に対して、周知徹底を図り、各課において「不祥事を出さないための宣言文」を作成し、実践している。また、庁内ネットワークを利用して休日前の注意喚起や月初めに「セルフチェックシート」による自己点検、「身だしなみチェックリスト」により自らの行動を点検している。さらに、階層別研修では、

勤務規律の確保や公務員倫理の確立に向けた講義を実施するとともに再発防止に関するDVDの視聴を行っている。また、「職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例案」を今議会に提案するなど、不祥事再発防止に向けて職員が一体となって取り組んでいる。



桐生市役所

質問 市長を先頭に全職員が、庁舎周辺、トイレなど心を込めた掃除を始めると考えが見解は。

答弁 現在 在も 役職に関係なく職場の清掃、整理整頓を行っている。また、各部署で順番に市役所構内及び周辺道路の清掃を行っており、共同作業することで、連帯感、協調性が高まることを実感している。今後、今後も清掃活動は続けていきたいと考えている。

「職員の不祥事防止」の理解と確実な実行を図るため、部課長を対象に説明会を実施し、各所属職員に対して、周知徹底を図り、各課において「不祥事を出さないための宣言文」を作成し、実践している。また、庁内ネットワークを利用して休日前の注意喚起や月初めに「セルフチェックシート」による自己点検、「身だしなみチェックリスト」により自らの行動を点検している。さらに、階層別研修では、



人 川 久 北
(創志会)

子どものための公園・河川敷

質問 山紫水明で綺麗な水が流れる当市に住んでいながら、子どもを自然に触れさせたいと思っても連れていけない場所がないのは残念である。現在のところ親水公園を作る計画はないということだが、野外活動センターのところにあるような小規模な親水護岸であれば、工夫次第で、大きな敷地や多額の予算をかけずに水遊びやバーベキューなどを行える場所を作れるのではないかと考えるが見解は。

答弁 当市の河川は谷が深く、急流であるものが多く、安全に自然に親しみ、水遊びをする場所を探すことは難しいものと考えているが、水遊びができる親水公園は大変人気のある施設であるので、今後、国や県などの河川管理者と協議

しながら研究したい。
市有施設の開放
質問 市有施設の利用について、市民の声を聞きながら、もう少し柔軟に対応して欲しいと考えるが見解は。
答弁 今後、市有施設の老朽化と人口減少が見込まれる中で、公共施設等総合管理計画に基づき施設総量を縮小しながらも、市民の利便性向上のためには施設の多機能化を図ることが必要であるので、更なる有効活用を図るため研究したい。



親水公園イメージ



田島 忠一 (そうぞう未来)

土砂災害ハザードマップ

質問

広沢町の山際は土砂災害特別警戒区域がたくさんある。その中でも、広沢町七丁目の土砂災害警戒区域等は太田市との境にあるが、これについて、群馬県及び太田市と情報共有しているのか。

答弁

土砂災害警戒区域等の指定については、群馬県内においては、平成26年10月までに群馬県が全県下の指定を完了している。これは、斜面の傾斜等を基準に、桐生市についても、太田市についても指定したものであり、群馬県及び太田市とは土砂災害警戒区域等について共通認識がされている。

調理場の水害対策

質問

新中央共同調理場の建設予定



土砂災害ハザードマップ

地の水害対策は。

答弁

桐生市新学校給食中央共同調理場建設予定地については、桐生市の水害ハザードマップで確認すると、最大の雨量では建設予定地に浸水のおそれがあるとされている。現在、新調理場の設計を行っている段階であるが、最大の雨量を想定した建物の水害対策を行う予定はない。しかし、近年、想定できないような災害が各地で発生しているため、関係部局と連携を図りながら、国土交通省に護岸や堤防の整備をお願いしてまいります。



山之内 肇 (公明クラブ)

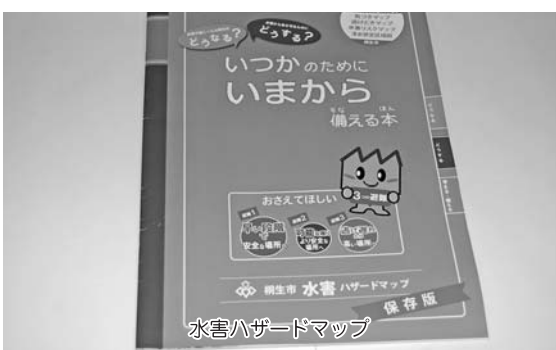
新ハザードマップの活用

質問

住民や小中学校の教育現場において、新ハザードマップの内容や使い方をくまなく伝え、命を守る行動を浸透させる取り組みが必要であると考えられるが見解は。

答弁

関係部局と連携を図り、住民懇談会や出前講座などを活用するとともに、日頃の備えの大切さや自助・共助など、防災意識の向上に努めてまいります。また、防災教育について、新ハザードマップの内容や特徴を踏まえ、自校の防災教育にどのように活用することが有効か検討するよう指導



水害ハザードマップ 保存版

してまいります。

危険なブロック塀等への対策

質問

危険なブロック塀等に対し、多くの不安の声があることを踏まえ、それらの一掃に向けて、所有者に安全対策を促すためにも除却・改修工事に関する補助制度を是非創設頂きたい。

答弁

現在、広報紙等で注意喚起を行っているほか、ブロック塀等の所有者や管理者に必要な改善指導を行っている。補助制度の創設については、国の補助制度や県内各市の助成制度の状況を踏まえ、検討してまいります。

その他の質問項目

- ◆福祉避難所運営の充実
- ◆子ども達の重すぎるランドセル・カバンの解消



園 田 基 博 (創志会)

障害者・高齢者への社会参画の支援

質問

市役所における障害者の法定雇用率達成度とその取り組み及び、高齢者の就業支援における取り組みについて伺いたい。

答弁

法定雇用率の過去3年の状況は、平成28年、29年が2・3%、平成30年が2・5%であり、いずれの年も法定雇用率を充足している。取り組みについては、ハ



シルバー人材センター

ローワークや障害者就業・生活支援センター、高等特別支援学校と情報交換を行うなどして、雇用に繋げており、また、10月には、ハローワークが実施する「障害者就職説明会」に参加し、障害者の雇用に繋げていきたいと考えている。高齢者の就業支援における取り組みについては、シルバー人材センターのシルバーまつりの会場や市内スパーでのチラシの配布、桐生タイムスへのチラシの折り込みなど、シルバー人材センターの仕事内容等の周知を図るとともに会員の募集を行うほか、毎月1回、入会希望者を対象とした説明会を行っており、併せて、市役所窓口でのチラシの配布、広報きりゆうでの会員募集記事の掲載などで周知を図っている。

その他の質問項目

- ◆若者支援
- ◆教育の国際化対応
- ◆経済の国際化対応



岡部 純朗 (そうぞう未来)

おりひめバス等について

質問 ダイヤ改正に伴う検討委員会の構成は。

答弁 自治会などから住民又は利用者の代表のほか、運行事業者、バス協会、タクシー協会、学識経験者、また道路管理者、警察などを含む行政関係者を予定している。

質問 桐生市社会福祉協議会のバスが廃止となった経緯は。

答弁 登録から23年が経過し、走行距離は19万kmになり、車体や内部の部品が老朽化し、運行に支障をきたしていた。また、運行の安全を確保するために、その指導を行うものが、専任でない状況であり、買替費用の財源や運転手の確保も難しいことから平成30年3月31日をもって廃止となったと聞いて



おりひめバス

いる。

赤岩用水路

質問 使用されていない引込水路が増え、草木が繁茂しているが、伐採等は。

答弁 農業用水は、本来、受益者である耕作者の管理となるが、耕作者の減少や高齢化により、市に管理が移管されているので、水量調整や雑草の除去等は臨時作業員で行い、危険個所の伐採等は業者委託により行っている。いずれにしても関係部局と連携を密にし、水路の安全を図るべく維持管理していきたいと考えている。



小滝 芳江 (クラブ 21)

公立学校教職員の残業、休日出勤

質問 公立学校教職員の労働時間短縮に向けた具体的な対策は。

答弁 各学校では教員の負担軽減の視点から、校務分掌等の整理・精選、会議や行事の精選、校時表の見直し等により教材研究や事務処理の時間の確保等に取り組んでいる。また、小学校において、教科担当制を導入し、毎日、授業を受け持たない時間を1時間以上確保する学校が増えている。また教育委員会としても夏季休業中の学校閉庁日を実施するなどの取り組みを進めている。



授業の様子

男女平等と女性活躍推進

質問 女性活躍推進法に基づく行動計画の推進状況を把握・分析し、女性の積極的な登用・評価の実施は。

答弁 平成28年3月に「女性活躍推進法に基づく行動計画」を策定し、女性職員の活躍の推進に向けた目標として、管理的地位への女性職員の登用を掲げ、この目標を達成するための取り組みとして「キャリアアップ」「職場環境づくり」「男性職員の育

進」「女性職員が意見交換を行える場づくり」「意識改革」の取り組みを掲げ、昇進や仕事に対して意欲的に取り組める職場環境を醸成し意識改革に努めている。



見 武 男 (創志会)

群馬大学理工学部との連携

質問 群馬大学理工学部と今後どのように連携していくのか。

答弁 自動運転実証実験については、株式会社ミツバ及びミツバグループが群馬大学と共同研究という形で、「地域の移動課題解決に向けたモビリティネットワーク社会実装研究」を桐生市内で実施することを構想し、具体的な検討を始めている。市としても、実験場所や実験方法についての助言、地域住民や関係機関との調整など、出来る限りの協力をを行い、地域を牽引する市内企業と地元大学の研究がスムーズに進むようサポートしたい。学生の市内定着については、まずはその手がかりとして桐生市に対する理解や関心、親しみを深めてもらうことを目的とした初め



群馬大学工学部同窓記念会館

ての試みとして、群大生と市長の懇談会を、10月31日に桐生キャンパスで実施する予定である。新たな取り組みとしては、市立幼稚園・小中学校の教育活動及び教職員研修の充実のためには、群馬大学との連携が不可欠であるとの観点から、教育委員会における群馬大学との連絡窓口の一本化を目的とした群馬大学連携推進部門を設置した。このことにより、群馬大学の専門性を生かし、桐生ならではの特色ある教育を今後一層推進するべく、教育分野においても群馬大学との連携強化を図りたい。



新井 達夫 (そうぞう未来)

有害鳥獣対策

質問

市の対策として、どのような事業を行っているのか。また、サルの捕獲檻について、移動式の捕獲檻が効果的であると考えるが見解は。

答弁

市の対策として、イノシシやシカの捕獲を実施しており、黒保根地区においては、捕獲檻と、くくり罠による捕獲を実施している。サルの捕獲檻については、現在固定式であるが、効率的に捕獲頭数を増やし被害軽減を図るため、移動式の捕獲檻の導入を含め、様々な観点から検討してまいりたい。

複合木材市場

質問

複合木材市場は、いつ完成するのか。また、複合木材市場の木材取扱量及び樹種、材質について



捕獲されたイノシシ

の将来的な計画は。

答弁

複合木材市場の完成時期については、事業主体である群馬県森林組合連合会が、平成30年度末までに完成する予定で整備を進めている。また、複合木材市場の木材取扱量等については、スギ・ヒノキを基本として、建築用材からチップ用材となる低質材まで幅広い木材を集める計画であり、既存市場の1万㎡をベースとして、平成31年度に1万3000㎡を計画しており、徐々に増やして、5年後には2万6000㎡にする計画と伺っている。



周 東 照 二 (公明クラブ)

まつりと酷暑対策

質問

桐生八木節まつり・地域のまつり等への酷暑の影響と今後まつり等の暑さ対策については。

答弁

桐生八木節まつり・地域のまつり等への酷暑の影響と今後まつり等の暑さ対策については、当日、気温の上昇が見込まれたため、子どもみこしパレード及びジャンボパレードを中止したほか、ダンス八木節のうち、子どもが出演する部分について、中央公民館の市民ホールに会場を変更した。猛暑の中での開催だったが、大きな事故や傷病者もなく、無事に終了できた。地域のまつり等への酷暑の影響については、法被



桐生八木節まつり

や神輿、太鼓の貸し出しを行っている団体に確認したところ、1件のみ太鼓の引き回しのコースを短縮した団体があったほかは、酷暑を理由とするまつりの中止や変更はなかった。地域のまつりについては、基本的に自治会などの主催者の責任のもとに開催されるものと考えているが、市としても、ふれあいメールや市ホームページなどで熱中症予防のための注意喚起を行っている。今後のまつり等の暑さ対策については、イベントの時間帯、会場、コースの変更などあらゆる角度から対策を検討したいと考えている。また、地域のまつりやイベントについては、市民の健康を第一に、引き続き注意喚起のための情報発信に努めてまいりたい。

第26回議会報告会・意見交換会

日時 平成30年11月2日(金) 場所 川内公民館 集会室
午後6時～午後7時10分

議員による寄附や年賀状などは法律で禁止されています

公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆様のご理解をお願いします。

- 年賀状などのあいさつ状を出すこと。(答礼のための自筆によるものは除きます)
- 寄附をすること。
- 本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。

人事案件

市議会は、次の人事案件2件に、異議ない旨回答することに決定しました。

人権擁護委員候補者

- 高澤 準 次氏 (再任)
- 深沢 博 行氏 (再任)

議案番号・議案		議員氏名														結果										
		工藤英人	園基博	飯島英規	伏木康雄	渡辺恒久	関口直久	北川久人	人見武男	久保田裕一	辻正男	田島忠一	新井達夫	山之内肇	周東照二	佐藤光好	佐藤幸雄	森山享大	福島賢一	岡部純朗	河原井始	周藤雅彦	小滝芳江			
市長提出	議案第53号	職員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第54号	桐生市市税条例等の一部を改正する条例案	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第55号	桐生市都市計画税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第56号	桐生市民体育館改築建築主体工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第57号	桐生市民体育館改築機械設備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第58号	桐生市民体育館改築電気設備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第59号	桐生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第60号	平成30年度桐生市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第61号	平成30年度桐生市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第62号	平成29年度桐生市歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第63号	平成29年度桐生市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第64号	平成29年度桐生市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	議案第65号	平成30年度桐生市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議ない旨回答することに決定
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議ない旨回答することに決定	
提議 出員	議第6号議案	公立病院の経営安定化及び医師確保の支援を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

請願の審査結果

この定例会では請願5件の審査を行い、その結果、1件が不採択、4件が閉会中の継続審査となりました。

◎不採択となった請願

付託委員会	受理番号	件名
経済建設委員会	第15号	「桐生八木節まつりでのブルーインパルス展示飛行中止」を求める請願

◎継続審査となった請願

付託委員会	受理番号	件名
総務委員会	第12号	「核兵器禁止条約の締結を求める意見書」を政府に送付することを求める請願
	第13号	「核兵器禁止条約の締結を求める意見書」を政府にあげる事の採択を求める請願
教育民生委員会	第14号	学校給食費の無料化を求める請願
	第16号	年金支給の隔月支給を毎月支給に改める請願

主な議案

○職員の懲戒の手續及び効果に関する条例の一部を改正する条例案

概要

職員の不祥事再発防止策の一つとして、減給及び停職の効果をも国と同様の内容に改めようとするもの。

1 減給の効果

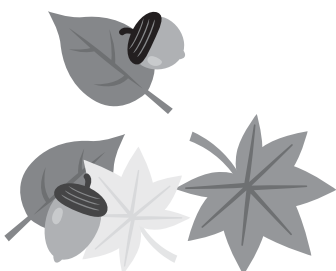
(1) 期間 「1日以上、6月以下」を「1日以上、1年以下」に改める。

(2) 率 「給料の月額額の10分の1以下を減ずる」を「給料の月額額の5分の1以下を減ずる」に改める。

2 停職の効果

(1) 期間 「1日以上、6月以下」を「1日以上、1年以下」に改める。

▽施行期日 公布の日



意見書

この定例会では、次の意見書を可決し、内閣総理大臣ほかに送付しました。

公立病院の経営安定化及び医師確保の支援を求める意見書

人口減少や少子高齢化が進展し、医療需要が大きく変化することが見込まれるなかで、地域住民の安全で安心な生活が保障されるためには、地域における医療環境の整備・充実が極めて重要な課題となっている。特に公立病院は、地域医療の中核として、救急医療、小児医療、周産期医療等の不採算部門や高度医療、特殊医療なども担いつつ、医療供給体制の確保と医療水準の向上に努めている。

このような中、平成16年度から始まった新臨床研修制度は、研修医が研修先を自由に選択することができるため、大都市に研修希望者が集中し、大学病院が地域に派遣していた医師を引き上げたことなどにより、地域医療を支える公立病院では研修医が減少する結果を招いている。

加えて、本県においては、基幹病院である群馬大学医学部附属病院（以下「群大病院」という。）が、医療事故による「特定機能病院」の取消しを受け、研修医の採用数が大きく減少したことにより、県内地域の公立病院からの派遣医師の引き上げが行われ、公立病院経営にとって一層厳しい状況を招いている。

地方自治体としても、公立病院の医師確保の取組や経営改革については、全力で支援をしているところであるが、医師の地域的な偏在や診療科による偏在等といった問題の根本的な解決には、国が抜本的で、効果的な対策を講じるべきである。

よって国においては、医師の偏在による地域や特定診療科における医師不足を是正し、公立病院の経営安定化や医師確保の支援について、特段の措置を講じるよう強く要望する。

記

1. 医師不足・偏在は、依然是正されておらず、医師の適正配置の仕組みを再構築するなど、医師提供体制の整備について、国の制度を見直すこと。
2. 公立病院医師の「働き方改革」を進め、処遇改善や負担軽減策の一層の充実を図り、医師確保に向けた実効性のある対策に取り組むこと。
3. 群大病院について、「特定機能病院」として早期の再承認を実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

提出先 ○衆議院議長 ○参議院議長 ○内閣総理大臣 ○厚生労働大臣 ○内閣官房長官 あて

一般会計の補正予算

○平成30年度桐生市一般会計補正予算（第2号）

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ523万8,000円を増額して、予算総額を444億4,972万2,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

●民生費高齢者福祉費

- ・長寿センター等事業 239万6,000円の減額（長寿センター等運営費補助金）
- ・黒保根支所高齢者リフレッシュ事業 254万3,000円の追加（水沼駅温泉センター利用委託料）

●民生費児童福祉費

- ・一般経費 231万2,000円を増額（子ども・子育て支援ニーズ調査委託料）

○平成30年度桐生市一般会計補正予算（第3号）

概要 歳入歳出予算について、歳入歳出それぞれ4億1,591万円を増額して、予算総額を448億6,563万2,000円としたもの。

歳出予算の主な補正内容

●衛生費保健衛生費

- ・病院運営事業 4億1,591万円を増額（桐生地域医療組合負担金）

平成29年度

決算を認定

平成29年度桐生市歳入歳出決算及び桐生市水道事業会計決算については、それぞれ賛成多数で認定しました。

同決算の認定にあたっては、市長による平成29年度決算総括、監査委員による監査報告の後、決算特別委員会（委員19人で構成）を設置し、3日間にわたり慎重に審査を行いました。

なお、本会議における討論の概要は下記のとおりです。

賛成討論

平成29年度桐生市歳入歳出決算については、予算執行にあたり当局において様々な工夫をなされ支出抑制に努められた結果、約19億円の黒字決算となった。

健全化判断比率の4つの指標はいずれも、早期健全化基準を大きく下回っており、問題のない水準であると認識はしたが、財政力指数や経常収支比率からも読み取れるように、依然として厳しい財政状況が見受けられる。

このような厳しい状況下であるので、今後とも社会情勢を的確にとらえながら、常に緊張感を持ち、最少の経費で最大の効果が得られるよう、無駄のない健全な財政運営を期待する。

「元気で活力あるまちづくり」では、足利市や東武鉄道グループと連携した広域周遊観光促進事業、前橋市と連携した赤城山観光振興事業と、これからの桐生市にとって近隣他市との広域連携事業は重要なポイントとなることから、これらの事業を検証し、新たな広域連携事業につながることを期待する。

「安心して暮らせるまちづくり」では、きりゅう暮らし応援事業を住宅取得応援助成金、住宅リフォーム助成金、空き家利活用助成金、空き家除却助成金と展開し、素晴らしい成果が得られたが、さらに充実した事業になることを期待する。

「子供のための未来づくり」に関しましては、不妊治療助成・不育症治療助成、母乳外来助成等の施策が、子供を授かるまで、また、子供を授かってからの一助になったものと思う。

厳しい財政状況ではあるが、今後も市民生活・市民福祉向上のための、市民の皆様にわかりやすい有効的な施策の展開にご尽力いただきたい。

反対討論

この4年間で地方交付税は大幅に減少している。平成26年度は109億511万2000円だったが、平成29年度では100億9,802万4000円となり4年間で8億709万円の減少である。使い道が基本的には自治体の裁量に委ねられている財源が減少することは、地方独自の行政施策ができなくなるので、国に対して地方交付税の引き上げを求めていくことを要望する。

桐生市で働く職員の問題については、職員の不祥事が続いているが、あってはならないことであるので、原因究明を続け、若い職員が持っている能力を發揮できる職場作り、環境作りが大切である。

産業については、中小企業の街として発展してきた原動力は町工場などの中小零細業者の皆さんである。今でもその技術力は高いものがあり、その技術者育成と後継者問題などに力を尽くすべきである。

国保税については、今年4月から都道府県化への移管と共に、当局の努力の中で税の引き下げが行われ、市民からも歓迎の声が寄せられている。国保基金として24億8000万円積み立てられているので、この基金を活用してさらに税の引き下げをすることを求める。

また、介護保険については、第6期、第7期ともに介護保険料が県内12市で一番高いので、保険料を引き下げ、市民負担軽減に踏み出すべきである。

また、厚生病院の医師不足への取り組みについては、桐生地域の中核病院としてその役割の大きさから深刻な状況にあるので、医師確保により市民の負託に応えるよう要求する。

ハラスメント研修会

9月13日、桐生市職員不祥事再発防止調査特別委員会が主催となり、議員を対象とした「ハラスメント研修会」を開催しました。今回はパワーハラスメント、セクシャルハラスメントを中心に講義が進められ、誰もが当事者になり得るハラスメントという問題に対し、議員一同理解をさらに深めました。



インターンシップ実習生を受け入れ

桐生市議会では大学生のインターンシップを受け入れ、議会の仕事や議員の役割について体験学習していただいています。

今回は、群馬大学理工学部の石原広登さん、茨城大学人文学部の木村桃華さんの2名を受け入れ、会議の準備や会議録作成、市議会だよりの原稿作成を体験していただきました。



インターンシップ感想

今回のインターンシップは、私にとって初めての市役所の業務を直接見て体験する機会でした。議事課の方達や議員さん達はとても優しく気さくに話してくれたおかげで自身の緊張も解けて打ち解けることが出来ました。議長の森山さんと副議長の福島さんとの意見交換の場では、様々な意見を交えることで今の桐生市議会や桐生市全体の現状などをより深く理解することが出来ました。

今回は、自身で聞いて調べる以上の経験や知識が得られた大変貴重なものとなりました。本当にお世話になりました。



インターンシップ感想

議事課のインターンシップにおいて、議長の森山様と副議長の福島様と意見交換が出来たことが、非常に良い経験となりました。お二方が優しく、気さくな方で、私たち学生の意見を真剣に聞いてくださり、また、お二方の意見を伺うこともできたので、桐生を発展させたいという熱意を強く感じました。なるべく多くの市民の声を聞こうとする姿勢に心を打たれ、市民の代表として桐生をより良くしようとするお二方はカッコいいと感じました。今回のインターンシップで得られたものは非常に多かったです。



活動開始!

議会モニター

7月から試行的に桐生市議会モニターの活動が始まりました。今回は高校生を含む10人の市民の方にモニターをお引き受けいただいています。モニターからいただく「市民目線」のご意見は、より良い桐生市議会の実現のため議会運営に反映させていきたいと思えます。



市民の皆様におかれましては、平素より議会活動に関しまして、深いご理解と温かなご支援を頂いておりますことに、心より御礼を申し上げます。

さて、第3回定例会では、国に対して「公立病院の経営安定化及び医師確保の支援を求める意見書」を提出することを全会一致で可決しました。議会としても、補正予算で提出された桐生地域医療組合の負担金の増額補正の件とともに、この問題を重く受け止め、市民の皆様の安全で安心な生活を確保するため、継続して取り上げてまいります。

また、このたび、市民の皆様から寄せられたご意見・ご要望をより積極的に市政に反映、政策化するため、議会として、予算要望書を市長に対して提出しました。その反映結果について、来年度予算案の審議の中できっかりと議論を深めてまいります。



森山 享大 議長

福島 賢一 副議長

ご
あ
い
さ
つ

猛暑も過ぎ去り、心地良い季節が到来いたしました。市民の皆様にはご健勝のこととご推察申し上げます。

本年は、自然災害が数多く発生し、四国、中部地方への度重なる台風の上陸、大阪北部、北海道厚真町地域の地震等により、甚大な被害が発生し、被災されました方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、平成30年第3回定例会は平成29年度予算執行状況を審議する決算議会であります。

一般会計、特別会計それぞれ適正かつ効率的な執行が確認され認定された次第であります。

また、市議会として議会改革に取り組む中で、早稲田大学マニフェスト研究所による「議会改革度調査」ランキングにおいて全国1,788議会中第6位と非常に高い評価を得ることができました。

今後とも、市民の皆様と共に歩む議会、開かれた議会を目指し取り組んでまいりますので、市民の皆様の深いご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

桐生市議会

検索

<http://www.city.kiryu.lg.jp/shigikai/>

